



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第77号  
平成30年4月18日

# 河津町議会だより



**平成30年 第1回定例会**

町長の施政方針	2～3
定例会議案の説明	4～5
予算審査特別委員会	6～7
一般質問	8～15
— 部事務組合報告	16～17
私せ一言 (眞鍋幸代さん)	18

# 町長の施政方針（抜粋）



## 主要な施策

① 子育て、教育環境の充実強化

ICT環境整備、教育指導環境の改善や「次期子ども子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査の実施。

② 防災・減災対策

同報無線統制台のデジタル化、Jアラート更新整備事業や防災ガイドブックの更新。

③ 河津バガテル公園の再生

花を活かした町づくりのシンボルとして誕生した当公園を、もう一度活気のある公園とすべく、

見識者等の意見を参考に再生に取り組む。

④ 第1次産業と第3次産業との連携事業の推進

主産業である観光業と昔から培ってきた1次産業との共生による活性化をはかり、市場調査、ニーズ調査を行い1次、3次産業双方が活性化するための計画実施。

⑤ 効率的な行政運営と開かれた行政への推進

職員研修による知識向上やアウトソーシングの推進などにより効率的な行政運営。町政報告、施策、事業の内容などの積極的情報公開で開かれた町政の実現。

# 30年度事業（抜粋）

●平成30年度予算の概要

平成30年度の予算総額は、61億5600万6千円となり、一般会計予算37億4100万円、前年比99.00万円、2.6%減となった。歳入は、自主財源14億8155万8千円、構成比39.7%、依存財源22億5944万2千円、構成比60.3%となった。歳出は、義務的経費13億265万9千円、経常的経費31億7361万2千円、投資的経費2億9768万9千円となり、町民生活に密着した堅実・着実型の予算編成となった。

質な住民サービス向上のため、9部局を10部局に、22係を23係に再編する。

●伊豆縦貫道整備にむけた地域振興計画の策定

本町に設置予定である、2箇所のインターチェンジ周辺住民の意向を踏まえた地域振興計画を策定する。

●河津バガテル公園再生

公園の再生に向けた、民間資本の導入を視野にいたした調査検討の実施。

●コミュニティセンター

建物老朽化と耐震性の不足を危惧し、耐震補強対策の方針を決めるための予備調査の実施。

●部局・係の再編による機構改革

多様な住民ニーズや良

●コンビニエンスストアでの税込納開始

納税者の利便性と収納率向上を図るため、平成30年4月より開始。

●情報教育機器の整備

ICT教育を推進し高度情報化への対応を図るため、更新時期を迎えたデジタル教材、デスクトップ型パソコンをタブレット型に変更し、購入予定。

●水道事業

各施設とも耐用年数を迎えつつあり、更新需要が高まっている。安定した水道事業を持続するため、アセットマネジメントに基づき、水道事業ビジョンと経営戦略策定事業を実施。

●河津町学校教育整備検討委員会

小学校のあり方を方向付けるという事は、一朝一夕に結論を導き出せるものではない。様々な立場やいろいろな角度で十分な時間をかけて議論を尽くしていく。

●子ども・子育て支援事業

平成32年度からの新たな子ども・子育て支援事業計画に向け、現在の計画検証及び町民の意向調査を実施する。助成事業として、新たに不育症治療費の助成に取り組む。

●観光振興事業

静岡デスティネーションキャンペーンのプレキャンペーンを展開。都市計画・整備計画等を鑑み新たな計画づくりを行う。

# 可決した30年度予算

# 使えるおかね

議案第17号～24号			平成30年度当初予算(千円)	平成29年度当初予算(千円)
一般会計	民生費		831,908	855,949
	総務費		619,172	550,111
	教育費		408,402	481,448
	衛生費		484,501	462,655
	商工費		381,741	321,848
	公債費		337,019	332,980
	消防費		309,165	303,894
	土木費		156,999	309,019
	農林水産費		146,935	158,635
	議会議事費		55,152	53,455
特別会計	災害復旧費		10,000	10,000
	小計		6	6
	国民健康保険		3,741,000	3,840,000
	介護保険		1,201,074	1,386,615
特別会計	水道事業会計		1,029,677	939,264
	後期高齢者医療		234,160	304,837
	温泉事業会計		112,048	100,090
	駅前広場整備事業		83,422	82,781
	土地取得		4,501	4,502
	土地取得		896	913
特別会計	小計		2,665,778	2,819,002
	重複計		250,772	244,544
	純計		6,156,006	6,414,458

# 平成30年第1回定例会

3月8日～16日

平成30年度予算を決める第1回定例会が開催された。議事は全24件。

人事案件1件、条例案件9件、指定管理2件、補正予算4件、新年度予算8件。

新年度予算は全議員で構成される予算審査特別委員会へ付託され、各課ごとに説明をうけ質疑をおこない、5日間の集中審査を経て、可決された。

国民健康保険の県営化に伴う関連の国民健康保険税条例・介護保険税条例・後期高齢者医療に関する条例の一部改正があった。

また29年度同報無線のデジタル化に伴う事業を30年度に延伸することになった。一般質問は8名がおこなった。

## 第1回定例会議案(要旨)

- 同意第1号 固定資産評価審査委員 相馬 松里(川津筏場)
- 議案第2号 町指定居宅介護支援等の事業の人員、及び運営基準に関する条例制定
- 議案第3号 町内組織編成替えのため、課の設置条例を改正するもの
- 議案第4号 3号に連動、課の名称変更
- 議案第5号 消防団公務災害補償条例の一部改正
- 議案第6号 国民健康保険条例の一部改正
- 「納付に関する費用」県がかかわるための法改正
- 議案第7号 国保給付等支払準備基金条例の一部改正
- 名称・目的の一部改正

- 議案第8号 介護保険条例の一部改正 30年から32年までの保険給付に必要な保険料の算出により保険料率を1号保険者の区分に応じ年額保険料を決めるため条例改正の必要から(別表1)
- 議案第9号 後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 議案第10号 ごみ処理施設の大規模回収に関する事務の委託(17ページ参照)
- 議案第11号 庁舎内のデイサービスを町社会福祉協議会に指定するもの(6年間)
- 議案第12号 七滝観光センターを「株式会社社泣かせ隊」に指定するもの(2年間)
- 議案第13号 29年度一般会計補正予算

- 議案第14号 29年度国民健康保険特別会計補正予算(第9号) 事業費確定によるもの 3万9千円を追加し、歳入歳出総額それぞれ1億4億3546万2千円を減額し、歳入歳出予算総額それぞれ39億2282万5千円とするもの。年度末の精算に関して最終見込みによる増減
- 議案第15号 29年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ954万7千円減額し、歳入歳出予算総額それぞれ9億5113万9千円とするもの
- 議案第16号 29年度後期高齢者医療特

- 議案第17号 30年度予算は特別委員会に付託され、意見書を附帯しすべて可決した

### ■介護保険算出の基礎 平成30～32年 3年分

標準給付見込み額	30億2,863万円
地域支援事業	1億504万円
1号保険者負担分相当額	7億2,074万円
調整交付金相当額	1億5,460万円
調整交付金 見込み	2億162万円
保険料収納必要額	6億7,373万円

平成30～32年 3年分 第1号被保険者 人数予測		段階別保険料 (年額)
1,574 人	第1段階	39,000 円
763	第2段階	58,500
793	第3段階	58,500
1,266	第4段階	70,200
1,333	第5段階	標準保険料 78,000
1,473	第6段階	93,600
946	第7段階	101,400
445	第8段階	117,000
396	第9段階	132,600
計 8,989		

入歳出それぞれ14億7463万3千円とする

別会計補正予算(第2号) 年度末には医療補正又確定による増。歳入歳出それぞれ8万円を追加し、歳入歳出予算総額それぞれ1億21万5千円とするもの

## 新規主要事業

- 伊豆縦貫自動車道IC周辺地域 振興計画策定事業 460万円
- 防災ガイドマップ更新事業 約300万円
- Jアラート受信機交換事業 約280万円
- 学校環境整備検討委員会事業 54万円
- 教育資金利子補給補助事業 180万円
- 中学校武道場環境対策事業 約1300万円
- 河津桜まちづくり計画策定業務 約590万円

## 継続事業

- バガテル公園再生検討業務 540万円
- 町政60周年記念事業 109万円
- 徴税コンビニ収納事業 71万円
- 同報防災無線デジタル化事業 約5000万円
- B&G体育館改修事業 約4700万円

	同第1号	議第2号	議第3号	議第4号	議第5号	議第6号	議第7号	議第8号	議第9号	議第10号	議第11号	議第12号	議第13号	議第14号	議第15号	議第16号	議第17号	議第18号	議第19号	議第20号	議第21号	議第22号	議第23号	議第24号
遠藤嘉規	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上村和正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩田正治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
仲里司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小林和子	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土屋貴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡邊弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
稲葉静	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山田勇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮崎啓次																								

議長は採決に加わりません ○:賛成 ×:反対

# 意見書

1. 伊豆急河津駅前トイレは、町の玄関口として非常に重要である。関係機関と連携し、駅北口の開発を含め検討・整備に取り組まれない。
2. 河津桜は町の貴重な財産である。原木の延命（移植）を含め、次期総合計画等との整合性がとれるよう「(仮称)河津桜まちづくり計画」の策定を進められたい。
3. 医療・介護特別会計安定化のため、健康寿命を延伸する予防医療、検診事業等をさらに強化されたい。

## 総務課

**質問** 町民向け防災メールの登録数は、携帯電話を持って町民全員が登録した方が効果がある、どの程度進んでいるか。

**課長** 現在1,300件ほど。昨年、広報誌でアナウンスしたところ、町民から問合せがあった。引き続き広報かわづ等を使って周知を図っていく。

能、送信先は災害対策本部になる、GPS機能がマッパ上に写真や動画がUPされ、どこで、どんな状況なのか、一目瞭然となる。システム構築のために必要なモニター、タブレット端末等の備品の購入を予定している。

**質問** 備蓄用食糧は何日分か、またアレルギーに対応か。

**課長** 例年、80万前後の予算で購入している。備蓄の量が3日分程度で不足しているため、予算を倍付けにした。来年度以降もある程度確保していきたい。アレルギーにも対応している。

## 町民生活課

**課長** 予算額182万7千円。内容は災害時、職員が被災現場や避難所において携帯・スマートフォン・タブレット等のカメラで状況を撮影し、その情報に「〇〇地区避難所に男性〇人、女性〇人」などと書き込むことが出来る。避難所の開設状況、人が何名、病気が何名、人材の要請機能等を集計して一覧表にもできる。動画と併せての送信が可能。

**質問** 新規に始まる町税のコンビニ収納事務手数料70万8千円。これだけの経費でどのくらいの収納率か。

**課長** 全体の30%を想定

## 保健福祉課

**質問** 子ども子育て支援計画策定業務委託、人選はどうするのか。今後10年位を見越した上での計画、考え方は。

**課長** 子ども子育て支援事業計画は、平成27年度に最初の計画を立て、5年毎に見直し平成32年度から新たな計画となる。出生数も減っていること

## まちづくり推進課

**質問** 河津桜の切り枝商品化は始めたばかりだが、補正予算を組んでも積極的に進めてはどうか。

**課長** 切り枝商品化に向

## 産業振興課

**課長** 水道料値上げはどうか。

**課長** 今すぐにでも上げたいところ。料金収入が減って、耐用年数や更新等を考慮し、さらに現金が1億円を切るという状況の中で水道事業を続けていくには、資金の確保が必要。町の資産の総見直しをして、維持していくための目安にしたい。現時点では賀茂郡内では安い方。

## 教育委員会

**質問** 図書購入費が220万、思ったより少ない、何冊くらい購入する予定か。

**局長** 一心会から20万の寄附をもらい、年間220万円という形を取っている。図書の金額がまちまちですので、相対的には1年間に買う数というものは、年度ごとに違うが現時点で46,000冊の蔵書がある。

## 建設課

**質問** 橋梁維持事業の延命化が必要な橋はどれくらいあって、修繕費に対して国県の補助はどのく

**質問** 水道会計のキャッシュフロー、企業債を4,000万円起す償還金も同じく4,000万近くある。償還金が返せないから起債を起すのか、事業をやるための起債か。

**課長** 事業をやるための企業債。償還金については、返済額が増えないような範囲で工事を計画し、その中の一部を起債で事業費として確保していく。

**質問** 水道の供給量が減っていくと経営的に心

**課長** あの場合には町で駐車場用地として借りている土地で、出店での借り入れをしているわけではない。

# 町政を問う

# 一般質問



わたなべ ひろし 議員



桜まつり商工会出店ブース

# 町政を問う

# 一般質問



つちや たかし 議員

## 河津町 子育て支援事業ガイド

母子保健事業	子育て支援事業	助成制度
<ul style="list-style-type: none"> <li>●母子手帳交付</li> <li>●ママパパ学級</li> <li>●妊婦健診</li> <li>●産後ケア</li> <li>●乳幼児健診(0~3歳)</li> <li>●療育教室</li> <li>●発達相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てサロン</li> <li>●ブックスタート・読み聞かせ</li> <li>●スマイルバースデイ事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●結婚祝金</li> <li>●不妊治療費助成</li> <li>●妊婦健診助成</li> <li>●出産費助成</li> <li>●新生児聴力検査助成</li> <li>●こども医療費助成</li> <li>●児童手当</li> </ul>

### 質問

学習指導要領改正により、学校教育はどう変わるか

### 答え

小学校の学習が大きく変わる

質問：学習指導要領の改正により、子供たちの学習はどう変わるか。  
教育長：昨年の3月末に告示された。平成30・31年度が移行期間となる。小学校は、平成32年度に新しい教科書になる。中学校は33年度より実施される。小学校は、5・6

年生は英語の授業が増えて10教科になる。3・4年生に英語活動を実施。今年から道徳の教科書を使用する。プログラミング教育が必修化となり、週29時間に増える。

教育長：身近な生活にコンピュータが活用されている事。問題の解決に必要な手順があることに気付く事。コンピュータの働きを自分の生活にいかす事。操作の熟達や言語の習得でなく、筋道を立てて考えていく資質能力の育成にある。

### 質問

町民総意としての子育て支援策の充実

### 答え

医療費の無料化を高校生まで広げる検討

質問：子育て支援策は、どの様なものがあるか。  
保健福祉課長：出産費用の一部助成・郡内では河津町だけが行う住宅環境整備のほか、結婚祝い金10万円の支給。不育治療費の支援。新生児の視覚検査助成。30年度より、産後鬱の予防・新生児虐待防止策として産婦の健

康診助成の支援をしていく。子育てサロン・ファミリーサポートセンター事業の実施等々行っている。

質問：高校生の医療費の検討は。  
町長：子供医療費の助成は中学3年生まで実施。高校生まで拡大する事を県が検討している。県議

### 質問

新年度予算の重点施策、具体的な取り組み

### 答え

町民生活に密着した堅実、着実な取り組み

質問：7つの公約をもとに5つの重点施策として取り上げた部分は。  
町長：子ども・子育て支援事業計画の見直しを2か年で行う。小学校の統合問題は、学校環境整備検討委員会であり方の検討を行っている。バガテル公園の再生は2段階で進める。当面の運営の改

革を行う。その後再生計画による運営形態等も含めた事業の検討をする。第1次産業と第3次産業との連携は、ふるさと納税の返礼品に加工品も含む提供をおねがいする。開かれた行政の推進は、広報によるものと新聞折り込み等予算をとった。

事業とはどんな事業か。意見を聞く事業の線引きは。委員会等で諮問された部分を、後で決まりましたと知らされるより前に情報の公開をしてほしい。  
町長：県の情報公開の要綱をもとに、すべての情報開示でなくその中で線引きの制度設計をする。

### 質問

子育て事業の推進と、桜まつり出店要望

### 答え

インフルエンザ事業は慎重に検討

質問：インフルエンザ予防接種の無料化の事業は学級閉鎖など教育にも影響がある。データを取り組んでほしい。  
町長：恒久的な予算措置もあり慎重に検討すべきと考える。  
質問：放課後児童クラブの早急な改善は。  
町長：夏対策も含めレン

タルの冷房施設も予算計上した。現状で改善をしながらやっていく。  
質問：子育て支援施設にどんな事業をいれるか。  
町長：河津町子ども・子育て会議より答申いただいた計画の内容をもう一度再検討したい。  
質問：河津桜まつり売店出店で、商工会協賛店の

出店ができなくなるとの情報があるが、町はどのような対応をするか。  
出店できなければ別の場所に支援願いたい。  
町長：駐車場用地として町が借用している。駐車場も慢性的に不足しており、又出店者も集まらないとの事で商工会で方向を決めた。

# 町政を問う

# 一般質問



しお だ まさはる 塩田 正治 議員



踊子歩道にある壊れた街路灯

# 町政を問う

# 一般質問



こばやし かずこ 小林 和子 議員



さくら幼稚園の節分

## 質問 乳幼児保育のあるべき姿は

答え 環境整備・社会全体での支えあいが大事

町長：子どもからお年寄りまで支えあい安心して住める魅力あるまちづくりをすすめたい。そのためには労働人口の確保、近隣市町から移住されるようにすることが重要な施策。将来的には保育園・幼稚園を含めた子どもの施設をどうするかという課題があると考えている。

計画を30・31年に作成する。30年には施設内容を検討し、用地の答申を受けたい。保健福祉課長：なるべく早い時期の供用を目指したい。

夏場は学校を借りるので部屋に冷房機器を導入する。質問：町内の子どもには同じレベルの保育が受けられるように、保育者と保護者が励ましあってより良い保育ができるような環境づくりを進められたい。

## 質問 幼稚園・南小学校の安全はどう考えているか

答え 津波に関しては高いところへ避難がベスト

町長：小学校は現在3校になっている。今後の在り方を検討しているところ。今はそれを待つしかない。新たに建設の機会があれば津波想定のない地域に建設がベスト。

の両面から考えねばならない。園・学校では30年度教育計画をつくる予定。防災教育・防災計画を見直し、命を守るための取り組みに努めていく。

教育長：知・徳・体の調和の取れた育成は不易の事実。より良い授業・学級づくりを進めていきたい。楽しく学ぶことは生きがいに通じる。各施設の活用を進めたい。

## 質問 新たな河津ブランド品の掘り起こしについて

答え 主役は民間、行政は裏方として支援する

質問：河津町を訪れてくださるお客様の誰もが食べ、おみやげに必ず買って行ってくれるような新たな1品を、プロの料理人の方々や農業者、JA、農業試験場、役場の職員、県等官民連携によるオー

町長：産業振興の主役は企業であり、行政は裏方として企業活動を支援するものだと考えている。いろいろな分野で特産品となり得る可能性は数多くある。

質問：町が扇の中心になり、一歩踏み出す勇氣ある決断をしてほしい。

## 質問 湯ヶ野温泉復興に向けた第一歩について

答え 文学碑周辺の環境づくり、組織強化を図りたい

質問：伊豆縦貫自動車道が開通されるまでに、湯ヶ野温泉を復興させたい。第1弾として街路灯を経費の掛からないソーラーシステムのLED化にしたいか。

は大事である。しかし、過去に地元が維持管理できないうので、撤去の要望が出ていた状況だ。

ついでには川端康成の「伊豆の踊り子」の舞台として資源や土地を有効に活用し地元区や財産区にも協力していただき、文学碑周辺の環境づくり、組織強化を図りたい。

# 町政を問う

# 一般質問



やま だ いさむ  
山田 勇 議員



三筋山遊歩道

質問：風力発電地内の道路からみる景色は素晴らしい眺めだが、関係者以外は立ち入り禁止になっている。この風力発電地内の道路の観光への利用について町長はどのように考えるか。

町長：現段階では観光への利用というよりも、緊急時とか、森林事業とか、遊歩道の管理などに利用したいと考えている。何をすることも事業者の許可が必要だが、風力発電の見学については利用申請をすれば可能との事である。

質問：この質問をするにあたって、私は東京の担当者として取り組むことが考えられるならば、これから検討してみたいと思っている。

**答え** 今は緊急時、森林事業、遊歩道管理での利用を

## 質問 風力発電地内道路の、観光への利用促進を

質問：町長は公約の中でも、一次産業と三次産業の連携を推進すると言っているが、具体的にはどう進めるか。

町長：一次産業、三次産業との連携、六次産業については、特に加工品の開発を推進したい。加工品はふるさと納税の返礼品にもなる。更に河津桜まつりでも人気商品となる。

町長：管理会社の意向を当然聞く必要がある。今後の課題として取り組むことが考えられるならば、これから検討してみたいと思っている。

**答え** 加工品の開発推進、河津桜切枝の商品化

## 質問 農業の振興対策、活性化をどう進めるか

質問：町長は公約の中でも、一次産業と三次産業の連携を推進すると言っているが、具体的にはどう進めるか。

町長：過去の阪神・淡路大震災などで家屋などで倒壊して下敷きになった人を助けたのは、約7割が家族や隣近所であったと聞いている。まず自ら

町民へ周知を進めたい。町としても対策が進んでいない現実もある。新年度は防災関係の体制として、職員についても強化をしたいと思っている。

# 町政を問う

# 一般質問



えん どう よし のり  
遠藤 嘉規 議員



他市町の防災ガイドブック

質問：新年度の防災・減災政策として、先進事例研究や町民に危険性を知ってもらう取り組み等を検討してはどうか。

町長：過去の阪神・淡路大震災などで家屋などで倒壊して下敷きになった人を助けたのは、約7割が家族や隣近所であったと聞いている。まず自ら

町民へ周知を進めたい。町としても対策が進んでいない現実もある。新年度は防災関係の体制として、職員についても強化をしたいと思っている。

**答え** 総合防災ガイドを作り町民への周知を進めたい

## 質問 新年度における、防災・減災対策は

質問：子育て支援拠点共用開始までのスケジュールと予定地の検討は。

町長：平成30、31年度の「子ども・子育て会議」で今後5年間の支援計画策定が予定されている。子育て支援施設は、従来計画されていたものを再検討していただくよう諮問する予定。具体的なスケジュールは、平成30年度中に委員による施設整備の答申をまとめたうえで、その後に用地交渉、候補地確保の見込みが立ちしだい、基本設計の予算確保と契約、平成31年度には基本設計を受けて実施設計の契約をし、補助金の申請の準備を始め、実施設計の完成を予定。

平成32年度から建設に入り、できれば平成33年度に供用開始を目指したいが、できるだけ早い時期に整備ができればと思っている。予定地の選定は、今のところ白紙だが、委員会において、候補地を数力所に絞っていたとき、検討過程を明記した答申をいただきたい。

**答え** 予定だが平成33年度には共用開始を目指したい

## 質問 子育て拠点施設の供用開始時期は

# 町政を問う

# 一般質問



なか しろ 議員



静岡まるごと移住フェア(有楽町)

町長：自身の思いとして定住・移住について特に若い人たちに来て欲しい。そのためには住宅の助成制度や子育て世代への補助制度などを絡めていきたい。  
質問：現在の取り組みについて。  
担当課長：移住ツアーの

**答え** 町独自だけではなく、賀茂広域連携で活動中

**質問** 移住・定住促進に向けた取り組みについて

町長：自身の思いとして定住・移住について特に若い人たちに来て欲しい。そのためには住宅の助成制度や子育て世代への補助制度などを絡めていきたい。  
質問：現在の取り組みについて。  
担当課長：移住ツアーの

開催、お試し移住施設の活用、また空き家バンク制度を活用した住宅の紹介などを地元NPO法人に協力してもらっている。また、賀茂地区の市町と共同でも活動を行っている。

**答え** 30年度中に優先的燃料補給を業者と合意形成

**質問** 災害発生時の燃料確保について

質問：減災対策の具体的な取り組みとは。  
町長：津波に対しては、とにかく逃げるのが重要。防災マップの更新や避難看板、避難場所の整備を進める。地震に対しては家屋や家具の下敷きにならない対策を自主防災組織と行っていく。  
質問：災害発生時の重機や発電機などに使われる軽油はガソリンに比べ危険性が小さいので公用車も軽油対応の車両が必要なのは。また、停電時に強いポータブル計量器で使いながら軽油を備蓄するのはどうか。  
町長：ディーゼル車も一

つる案と思う。またポータブル計量器設置についても今後の検討課題とする。

## 2017年 移住希望地域

(ふるさと回帰支援センター調べ)

- 1位 長野県
- 2位 山梨県
- 3位 静岡県

# 町政を問う

# 一般質問



大堰浄水場のポンプ入替事業



うえ むら かず まさ 議員

質問：水道事業計画は独立採算制を原則としている。建設改良費が前年度比165%。企業債も5億6千万円程ある。大堰浄水場のポンプ入れ替え事業では、6千万円程かかったが、水道施設の状態、経営状態の説明を。建設課長：老朽化した管路・施設・設備の更新と、

これに伴う公営企業としての経営への懸念がされている状況である。経営状況はさらに困難になると予想され、起債返済も増加している。今年度は、アセットマネジメント策定を委託し財政状況の試算を行う。新年度に水道ビジョン策定による更新計画と経営戦略を策定し

具体的な実施を行う。これによって将来の水道料金水準なども表される。減収と費用増という相反する中で、水道事業を維持する事は厳しくなっている。料金改定が必要になってくると思うが、安定した水道事業の継続につながるよう検討していく。

**質問** 水道事業についてどう取り組んでいくのか

**答え** 水道施設や更新需要の経費を試算して行く

**質問** 県道落合縄地線の進捗状況は

**答え** 町内は約440mが路線決定している

質問：総延長3・3kmの新設の県道だが、間にはトンネルも造る大きな事業である。計画路線は。建設課長：一般県道河津下田線が正式名称である。国道135号河津町縄地と国道414号下田市落合を結ぶ、新設の県道である。伊豆縦貫自動車道

と有機的なネットワークを構成する路線として整備が進められ、国道135号から町道縄地線の間において関係者のご理解を頂き用地確保が進み、住宅の移転もされている。今年度から工事に着手する。下田市との境はトンネルを計画し、町内のそ

こまでの間については、工事が進む段階で住民、関係者に説明すると聞いている状況である。下田市側は、計画延長1km強で、内660mが供用開始され通行可能となっており、工事が進められている。



# 一部事務組合行政報告

## 下田メディカルセンター議会

2月20日に定例会が開かれた。

事業報告・運営状況は4月から12月までの入院2万3343人。

外来 5万707人(1日平均228.4人)。

救急患者 2785人。スタッフは常勤医師13人、非常勤医師33人、看護師74人で運営。

●議案第1号 一部事務組合\*SMC病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第2号 一部事務組合SMC特別職の非常勤職員及び議会議員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第3号 一部事務組合SMC職員の再任用に関する条例の制定について

●議案第4号 事務委託の内容が施工監理・設計・検査等に代わる。

●議案第2号 29年度会計補正予算(第2号)

歳入歳出から2420万円を減額し、歳入歳出をそれぞれ7億7164万円とする。工事費の年割額が決定したことによる減。

●議案第3号 30年度東河環境センター会計予算

歳入歳出総額はそれぞれ18億9656万8千円とする。国庫支出金5億2826万4千円、地方債7億4170万円を含む。継続費は焼却施設改良工事に総額29億8695万6千円、内29年度は1億7318万2千円、30年度は14億1162万円、31年度は14億214万9千円である。

地方債は、限度額7億4170万円。いずれも可決した。

## 下田地区消防組合議会

2月20日定例会が開かれた。

平成29年8月から30年1月までの組合全体の火災発生件数は14件、河津町内は一件。

救急出動は全体で2030件、搬送先は、SMCへ690人、西伊豆へ438人、伊豆今井浜へ237人、管外447人、ドクターヘリの搬送要請149件・113人の搬送であった。

議案は条例の一部変更3件。29年度補正予算1

●議案第1号 平成29年度西伊豆斎場修繕にともなう斎場使用料の補正。

●追加日程議案第3号 平成29年度臨時職員再任用にともなう総務管理費の補正。

●議案第2号 平成30年度会計予算歳入歳出それぞれ4027万1千円を承認可決した。

●議案第5号 30年度下田地区消防組合議会会計予算 歳入歳出予算総額は12億344万5千円とする。

## 伊豆斎場組合議会

2月19日に定例会が開催され、管理者である福井祐輔下田市長の行政報告が行われた。

●議案第1号 平成29年度西伊豆斎場修繕にともなう斎場使用料の補正。

●追加日程議案第3号 平成29年度臨時職員再任用にともなう総務管理費の補正。

●議案第2号 平成30年度会計予算歳入歳出それぞれ4027万1千円を承認可決した。

●議案第5号 30年度下田地区消防組合議会会計予算 歳入歳出予算総額は12億344万5千円とする。

## 東河環境センター議会

平成30年1月16日全員協議会が開かれた。

4月から始まる大規模改修の工事入札の決定、分担金の割合、期間中の運営について説明を受けた。全事業費は29億8695万円、そのうち1695万円は設計施工業務委託である。国庫から約3分の1交付金を受けられる予定。全体では約18億の事業費を払うようになる。

改修工事中の予定を先日広報2月号でお知らせした。普段2炉で焼却しているものを1炉で運転しながら順に工事をすすめる。ごみの減量に協力をお願いしたい。

2月20日第1回定例会が開かれた。議案3件。

●議案第1号 環境センターと河津町とのごみ処理施設の大規模改修に関する事務委託規約改正について

事務委託の内容が施工監理・設計・検査等に代わる。

●議案第2号 29年度会計補正予算(第2号)

歳入歳出から2420万円を減額し、歳入歳出をそれぞれ7億7164万円とする。工事費の年割額が決定したことによる減。

●議案第3号 30年度東河環境センター会計予算

歳入歳出総額はそれぞれ18億9656万8千円とする。国庫支出金5億2826万4千円、地方債7億4170万円を含む。継続費は焼却施設改良工事に総額29億8695万6千円、内29年度は1億7318万2千円、30年度は14億1162万円、31年度は14億214万9千円である。

地方債は、限度額7億4170万円。いずれも可決した。

3月16日、予算審査特別委員会で、中学校武道場の視察を行い、30年度予算の事業である天井全面張替工事の現状視察をした。

武道場は、平成元年に建設以来29年経過し、経年劣化により天井の枠が歪み、はまっていた吸音ボードがはずれる事が多くなり、部分改修では対応できなくなり行うものです。

## 町内視察

### 中学校武道場

3月16日、予算審査特別委員会で、中学校武道場の視察を行い、30年度予算の事業である天井全面張替工事の現状視察をした。

武道場は、平成元年に建設以来29年経過し、経年劣化により天井の枠が歪み、はまっていた吸音ボードがはずれる事が多くなり、部分改修では対応できなくなり行うものです。



## 東伊豆町と合同議員研修会

講演 演題 「伊豆半島地域の創生に向けて」

講師 土屋優行 副知事

賀茂地域広域連絡会議

市町間の広域連携の推進

専門部会の設置

行政効率化による住民サービス提供体制の安定化

教育委員会の共同設置

指導主事を共同設置し、教育の質の維持

伊豆半島をユネスコグローバルジオパークへ

地域の理解促進と一体感の醸成



# 議会の動き

## ● 議長の活動

1月

- ・ 県地方議会連絡協議会 (静岡市)
- ・ 郡町議会議長会臨時総会 (南伊豆町)

- ・ 県町村議会議長会役員会 (静岡市)

2月

- ・ 県町村議会議長会総会 (静岡市)

## ● 町議会の活動および 常任委員会活動

12月

- ・ 例月出納検査報告
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 青少年問題協議会
- ・ 高齢者保健福祉計画策定委員会



宮崎 啓次 議長

1月

- ・ 第2常任委員会
- ・ 地域福祉活動計画策定委員会

2月

- ・ 駅前広場管理運営委員会
- ・ 東伊豆町と合同議員研修会 (東伊豆町)
- ・ 議会臨時会
- ・ 議会議員説明会
- ・ 例月出納検査報告
- ・ 高齢者保健福祉計画策定委員会

3月

- ・ 国民健康保険運営協議会
- ・ 議会運営委員会
- ・ 広報編集委員会
- ・ 例月出納検査報告
- ・ 社会教育委員会

## ● 議長に要請のあった 諸国会合

12月

- ・ 年末の交通安全県民運動

1月

- ・ 暴力追放、銃器・薬物根絶住民大会(松崎町)
- ・ 新春産業経済懇話会

## 「私を一言」

### 「河津桜く本物の 魅力を届けたい」

眞鍋 幸代さん



NPO法人伊豆の田舎暮らし夢支援センターを通じて、静岡市から移住

し4年がたちました。

現在はNPOの活動をお手伝いしながら、「河津桜塩漬け」「河津桜天然塩」「河津桜チップ」「河津桜染め」など河津桜を利用した地域振興事業に取り組んでいます。河津桜、河津産の天然塩、剪定枝など地のものを最大限に有効活用することを第一の目標としています。

河津桜は町のシンボル。美しい濃いピンク色はいち早く春の喜びを日本人々に届けてくれます。

観賞だけで終わらずに、お客様が帰られてからの感動をご家族や友人に語る際に、そしてご自身の記憶に留めておくためにも、これらの製品が役にたつてくれることを願っています。こうした活動が出来るのもNPOをはじめ、ご協力いただいている河津町の皆様のおかげと日々感謝しています。これからも河津桜の「本物」の魅力を伝える製品を作っていきたいと考えています。

## 「新年賀詞交歓会」

- ・ 伊豆縦貫道関係期成同盟会要望活動(国土交通省と財務省)

2月

- ・ 鳥澤昭章氏旭日単光章受賞祝賀会
- ・ 伊豆縦貫道関係期成同盟会要望活動(国土交通省中部地方整備局)
- ・ 「富士山の日」フェスタ2018

## (山梨県富士吉田市)

3月

- ・ 伊豆文学賞表彰式・伊豆文学塾 (三島市)

## ● 町の行事

1月

- ・ 消防団出初式
- ・ 成人式

2月

- ・ 河津桜まつりオープニングセレモニー

## 編集後記

卒業や入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないだろうか。ある卒業式で松陰先生の言葉が心に残りました。「能はざるに非ざるなり為さざるなり」出来ないのではない、やらないのである。まずは、何事も初めの一歩を踏みださねばと感じる新年度です。読みやすい議会だよりを作り、新しい気持ちで取り組んでまいります。

(上村)